



東陽病院 鈴木 健士 医師

光町のみなさんこんにちは。今回は狭心症の治療についてお話ししたいと思います。前回お話ししましたが、狭心症とは心臓に栄養を送っている血管(冠動脈といいます)が細くなっている状態であり、発作が起きているときはニトログリセリンという薬でその血管を拡張、治療することをお話しました。しかし、ニトログリセリンの効果は一時的で、一日中効いているわけではありません。ですからもっと効果の持続時間が長い薬で、発作が起らないようにする治療が必要になります。これらの薬は、一般には飲み薬と貼り薬があります。飲み薬は、一日に1〜3回飲んでもらうものです。貼り薬は、薄いテープのようなものに薬がしみこんでいて、それを貼ると皮膚から徐々に薬が吸収されて効果を発揮するものです。心臓の薬だからといって別に心臓の上の皮膚に貼る必要はありませんからおなかでも胸でも結構です。ただし、はがれやすい場所などは避けた方がよいでしょう。他の狭心症の治療薬としては、血液をかたまりにくくしてその流れをよくする薬があります。特に心筋梗塞を起こしたところのある方や心臓の血管のバイパス手術をした方

には、この薬が処方されることが多いと思います。これらの薬は血液の流れがよくなるのですが、その反面血液が止まりにくくなることから、胃潰瘍などでは注意が必要です。また、これらの薬の中のワーファリンという薬は、納豆やブロッコリーを食べると効果が弱くなってしまいますので注意してください。また、コレステロールを下げる薬は、狭心症の原因となる動脈硬化を予防する効果がありますから、ひろい意味での狭心症予防薬といえるでしょう。狭心症の治療薬の主な副作用についてもお話ししましょう。まず冠動脈を拡張する薬ですが、冠動脈だけでなく他の血管も拡張するので、血圧が一過性に下がることがあります。このためにふらふらと立ちくらみが出たり、気分が悪くなる場合があります。また頭痛もよくみられる副作用の一つです。血液をかたまりにくくする薬には、特有の副作用というのには特ありませんが、吐き気などがみられることがあります。狭心症といわれてもそれだけで悲観する必要はありません。いかに心筋梗塞のような一大事にしないかが大切です。まずはよく診察、検査を受けて心臓の状態をしつかりと診断してもらい、すぐ入院して治療しなければいけないのか、外来で飲み薬からはじめればよいのか、それを知ることが大切です。発作が起きないようにうまくコントロール出来れば、病气など気にせず快適に生活できるのですから。

光町のみなさんこんにちは。今回は狭心症の治療についてお話ししたいと思います。前回お話ししましたが、狭心症とは心臓に栄養を送っている血管(冠動脈といいます)が細くなっている状態であり、発作が起きているときはニトログリセリンという薬でその血管を拡張、治療することをお話しました。しかし、ニトログリセリンの効果は一時的で、一日中効いているわけではありません。ですからもっと効果の持続時間が長い薬で、発作が起かないようにする治療が必要になります。これらの薬は、一般には飲み薬と貼り薬があります。飲み薬は、一日に1〜3回飲んでもらうものです。貼り薬は、薄いテープのようなものに薬がしみこんでいて、それを貼ると皮膚から徐々に薬が吸収されて効果を発揮するものです。心臓の薬だからといって別に心臓の上の皮膚に貼る必要はありませんからおなかでも胸でも結構です。ただし、はがれやすい場所などは避けた方がよいでしょう。他の狭心症の治療薬としては、血液をかたまりにくくしてその流れをよくする薬があります。特に心筋梗塞を起こしたところのある方や心臓の血管のバイパス手術をした方



には、この薬が処方されることが多いと思います。これらの薬は血液の流れがよくなるのですが、その反面血液が止まりにくくなることから、胃潰瘍などでは注意が必要です。また、これらの薬の中のワーファリンという薬は、納豆やブロッコリーを食べると効果が弱くなってしまいますので注意してください。また、コレステロールを下げる薬は、狭心症の原因となる動脈硬化を予防する効果がありますから、ひろい意味での狭心症予防薬といえるでしょう。狭心症の治療薬の主な副作用についてもお話ししましょう。まず冠動脈を拡張する薬ですが、冠動脈だけでなく他の血管も拡張するので、血圧が一過性に下がるがあります。このためにふらふらと立ちくらみが出たり、気分が悪くなる場合があります。また頭痛もよくみられる副作用の一つです。血液をかたまりにくくする薬には、特有の副作用というのには特ありませんが、吐き気などがみられることがあります。狭心症といわれてもそれだけで悲観する必要はありません。いかに心筋梗塞のような一大事にしないかが大切です。まずはよく診察、検査を受けて心臓の状態をしつかりと診断してもらい、すぐ入院して治療しなければいけないのか、外来で飲み薬からはじめればよいのか、それを知ることが大切です。発作が起きないようにうまくコントロール出来れば、病气など気にせず快適に生活できるのですから。

健康へのメッセージ

シリーズ 29

狭心症の治療

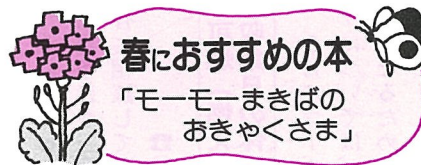
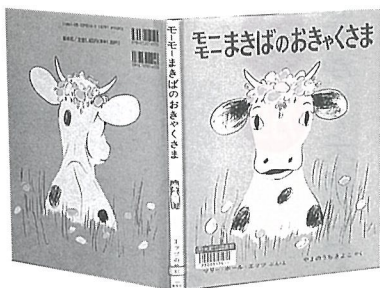
その②

治療薬は飲み薬・貼り薬
いかに心筋梗塞を起こさないようにするかが大事



ほんの

＝ 町立図書館 ＝
☎043311



春におすすめの本
「モーモーまきばのおきやくさま」

マリ－・ホール・エツツ ぶん・え
やまのうち きよこ やく・偕成社

モーモーまきばのうしさんは、おいしいくさをだれかにごちそうしてあげたくて、たくさんのおきやくさまをよびますが……

★この絵本は、やわらかい色を背景に、動物たちが大胆で、しかもきめ細い独特のタッチで生き生きと描かれ、のどかな雰囲気を伝えています。



- クリスマスまであと九日
- あるあさばくは……
- ねずみのウーくん
- 赤ちゃんのはなし
- きこえるきこえる
- いどこちたぞうさん
- また、もりへ
- わたしとあそんで
- もりのなか
- 海のおばけオーリー
- ちいさな心いじどうしや
- ジルベルトとカゼ
- ※豊かな表現力をもつ絵とありのままを語る物語が一体となっている点が、エツツの魅力となっています。